

# RHP80/100/ 120/120SD

## 取扱説明書

### はじめに

このたびはヤマハリアルヘッドパッドRHP80/100/120/120SDをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ヤマハリアルヘッドパッドシリーズは、電子ドラムシステム用に開発されたトリガーパッドです。打面にはヤマハアコースティックドラム用にラインナップされているコーティングヘッドを採用し、アコースティックなフィーリングをもつ豊かな演奏表現を可能にします。シェルはパーチにクリア塗装を施した本格的アコースティックドラム仕様で、ステージで高い存在感をアピールします。ヤマハリアルヘッドパッドシリーズの優れた機能を使いこなしていただくために、本書をご活用いただきますようお願い申し上げます。また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備え、本書を大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

### 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

### 記号表示について

この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

- ⚠ 記号は、危険、警告または注意を示します。
- 🚫 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

<b>警告</b>	この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。
🚫	この製品を、スタンドやラックを用いて設置される際、不安定な場所(水平でない場所、ぐらついている台の上など)に設置しないでください。転倒、落下などにより、ケガの原因となります。
⚠	この製品を、スタンドやラックを用いて設置される際、固定用のボルト等はしっかり締め付けてください。また、固定用ボルトをゆるめる際は急激にゆるめないでください。この製品やラック、スタンドの部品の落下、転倒などにより、ケガの原因となります。
⚠	ケガをする恐れがありますので、小さいお子様が取り扱いされる際は十分注意してください。
⚠	この製品を設置される際、接続ケーブルなどの引き直しには十分注意してください。足を掛けて転倒するなど、ケガの原因となります。

## ■ ドラムヘッドの交換

リアルヘッドパッドのドラムヘッドは、アコースティックドラムの場合と同様、消耗品です。傷んできたらご自身で新しいものと交換してください(推奨: ヤマハ レモ アンバサダーコーテッド DH-AMCT08/10/12)。ドラムヘッドには推奨のもの以外にもお好みのものをお使いいただけますが、使用されるドラムヘッドによって、打感、打音、出力の大きさなどが異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## ■ クッションの交換

リアルヘッドパッドは、センシング・消音のため、パッド内部からドラムヘッド裏側全面をクッションで押し付ける構造となっています。工場出荷時組み込まれているクッションのほか、付属の波型クッションも使用していただけます。波型クッションを使用されると、よりハードな打感が得られます。ご使用されるドラムヘッドと合わせ、お好みのものをご使用ください。

NOTE: 波型クッションを利用される場合は、工場出荷状態で組み込まれている黄色クッションを下に、波型クッションを上配置して、波型部がドラムヘッドに接触するようにしてください(この場合灰色平型クッションは用いられません)。

NOTE: 波型クッションを使用されない場合は、工場出荷状態と同様に、灰色平型クッションを下にし、必ず黄色クッションがドラムヘッドに接触するようにしてください。逆に配置すると、クッションの劣化が早まる場合があります。

波型クッションを使用しない場合  
(工場出荷時)

灰色平型クッション (下)    黄色クッション (上)

波型クッションを使用する場合

黄色クッション (下)    波型クッション (上)

## ■ 消耗部品(フープカバーゴム、クッション等)の交換について

- 本品には使用年月とともに消耗したり、性能が劣化したりする消耗部品(ドラムヘッドのほか、クッション、フープカバーゴム、ボリューム、接続端子など)が使用されています。消耗部品の消耗や劣化の進行度合いは、使用環境や使用時間などによって異なります。
- 消耗部品の交換は、お買い上げ店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## ■ 故障かな?と思ったら

リアルヘッドパッドをご使用の際、次のようなトラブルが出たら、修理を依頼される前に、下記のような確認を行ってください。

### ● 音が出ない、小さい

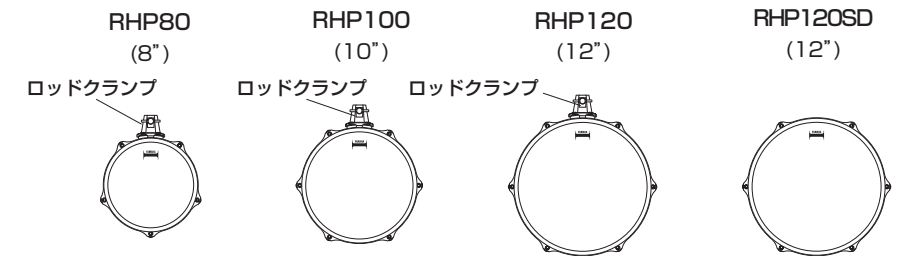
要因	確認事項
リアルヘッドパッドの OUTPUT と DTXXTREME/DTX/DTXPRESS の INPUT が、付属のステレオフォンケーブル(プラグの黒い帯が2本)で正しく接続されていますか?	モノラルフォンケーブル(プラグの黒い帯が1本)で接続すると、リムショットの音は発音されません。また DTX/DTXPRESS では、リムショットの音が発音されない INPUT 番号があります(上記「接続のしかた」参照)。
リアルヘッドパッドのレベル調整つまみが、必要以上に絞られていますか?	レベル調整つまみが必要以上に絞られていると、パッドを叩いても小さい信号しか出力されず、DTXXTREME/DTX/DTXPRESS に内蔵されている音源が十分な音量で発音されません。

## ■ 製品取扱上のご注意

- この製品を分解したり(本取説に記載のヘッド、クッションの交換を除く)、改造したりしないでください。故障や性能劣化の原因になります。
- この製品の上に乗ったり、重いものを乗せたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、閉めきった車内など)や、湿気の多い場所(風呂場、雨天の屋外など)での使用、保管はしないでください。変形、変色、故障や性能劣化の原因になります。
- お手入れの際は、やわらかい布で乾拭きするか、水を含ませて固く絞った布を用いて汚れをふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませた布を固く絞って汚れを拭き取り、その後で水を含ませて固く絞った布を用いて洗剤を拭き取ってください。ベンジンやシンナー、アルコール類は製品を変色、変形させる恐れがありますので、使用しないでください。なお、この製品の内部に用いているクッション部品は、劣化の恐れがありますので、水や洗剤に触れないよう注意してください。
- ケーブルの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。また、ケーブルに重いものを乗せたり、とがったものが触れたりしないように注意してください。ケーブルに無理な力がかかると断線などのトラブルの原因になります。

## ■ 本書に取扱説明を記載している製品

- RHP80/100/120は、タムスタンドやラックにセットできるよう、ロッドクランプを設けたタムタイプ(8"/10"/12")のトリガーパッドです。
- RHP120SDは、12" スネアドラムタイプのトリガーパッドです。スネアスタンド(YAMAHA:SS642等)を用いてセッティングします。



## ■ 同梱品確認のお願い

セッティングをはじめる前に、以下のものが同梱されているかどうか確認してください。万一不足のものがありましたら、お買い上げ店または本取扱説明書巻末に記載のヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● パッド本体 (RHP80/100/120/120SD) ×1</li> </ul> <p>ロッドクランプ (RHP120SDにはありません)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ステレオフォンケーブル (3m) ×1</li> </ul> <p>プラグの黒い帯が2本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 波型クッション ×1</li> </ul>
---	---	--

次へ

要因	確認事項
リアルヘッドパッドのドラムヘッドがゆるんでいませんか?	ドラムヘッドがゆるみすぎた状態では、リムのセンサー出力が小さくなる場合があります。チューニングキーを使ってヘッドの張り具合を調節しなおしてください。(上記「セッティングのしかた」参照)。
DTXXTREME/DTX/DTXPRESS とヘッドフォンやアンプ・スピーカーなどの外部機器との接続は正しくなされていますか?	外部機器との接続、外部機器の電源スイッチやボリュームの位置などを確認してください。
DTXXTREME/DTX/DTXPRESS 側の設定が正しくなされていますか?	DTXXTREME/DTX/DTXPRESS で、各 INPUT 番号に設定された音の音量設定が小さくなっていないか(上記「音を大きくしたいときは」参照)、ヘッドフォンのボリュームが下がっていないかなど、確認してください。

### ● 1回の打撃に対し複数回音が出る(ダブルトリガー)

要因	確認事項
リアルヘッドパッドのレベル調整つまみが必要以上に上げられていますか?	レベル調整つまみが必要以上に上げられていると、大きな信号が長く残ってしまい、DTXXTREME/DTX/DTXPRESS を複数回発音させてしまいます。上記「出力調整」により、適正な出力が送られるよう、設定しなおしてください。

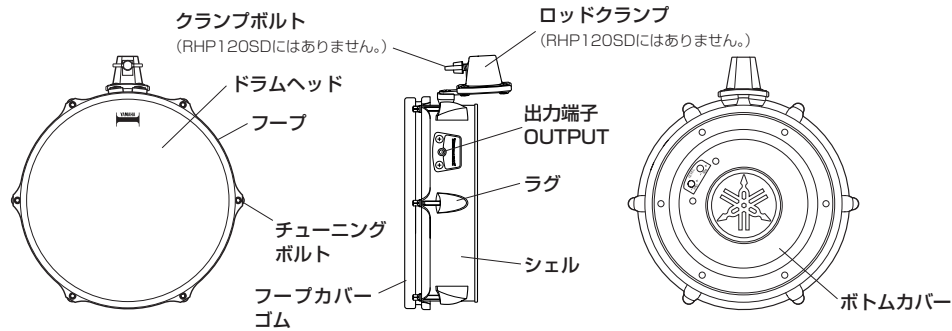
※ 上記再設定を行っても、ダブルトリガーが十分改善されない場合には、DTXXTREME/DTX/DTXPRESS のセルフリジェクション機能を使って発生を抑えることもできます。詳しくは DTXXTREME/DTX/DTXPRESS に付属の取扱説明書を参照してください。

### ● パッドを叩いた際リムに設定した音も出る、あるいはその逆(クロストーク)

要因	確認事項
リアルヘッドパッドのレベル調整つまみが必要以上に上げられていますか?	例えば、リムのレベル調整つまみが必要以上に上げられていると、パッドを叩いた際、シェルなどを通じてわずかに伝わる振動が、リムのトリガーセンサーに大きく拾われてしまい、リムに設定した音が発音されてしまいます。上記「出力調整」により、適正な出力が送られるよう、設定しなおしてください。

※ 上記再設定を行っても、クロストークが十分改善されない場合には、DTXXTREME/DTX/DTXPRESS のスペシファイドリジェクション機能を使って発生を抑えることもできます(DTXXTREME: INPUT9/10~15/16, DTX: INPUT9/10, 11/12, DTXPRESS: INPUT9/10 で可能)。詳しくは DTXXTREME/DTX/DTXPRESS に付属の取扱説明書を参照してください。

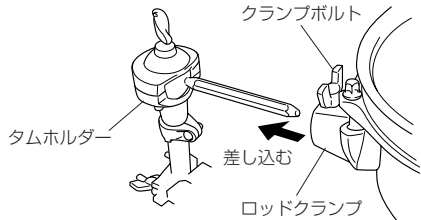
## ■各部の名称



## ■セッティングのしかた

### 〔RHP80/100/120〕の場合

ラックまたはタムスタンドのタムホルダー（六角棒）をパッドのロッドクランプに挿し込み、クランプボルトでしっかり締め付けて固定します。



### 〔RHP120SD〕の場合

スナアスタンド（YAMAHA：SS642等）を使って、通常のスナアドラムと同様にセッティングします。

NOTE：リアルヘッドパッドをマウントするラックには、YAMAHA ラックシステム RS100 または RS95 の使用をおすすめします。RS100 では、ボールクランプタイプのタムホルダーを採用しており、RHP120 までの大型パッドの取り付けが可能です。RS95 では、シリンダータイプのタムホルダーを採用しており、RHP80 までの軽量パッドの取り付けが可能です。RS95 に RHP100/120 などの大型パッドを取り付ける場合は、タムホルダー TPCL100（別売）の使用をおすすめします。なお、RS60 や RS80 では、リアルヘッドパッドの重量を支えきれない場合があります。RS80 をすでにをお持ちの方は、ラック強化部品キット VK80（別売）を利

用していただくことで、ラックの強度を RS95 と同程度までアップすることができます。

NOTE：お手持ちのドラム用チューニングキーを使って、フープ上に配置されているチューニングボルトを締めたりゆるめたりすることにより、ドラムヘッドの張り具合を調整することができます。ただしこの際 DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS 等から発音される音色自体は変化しません。ラックやスタンドへのパッドのセッティングは確実にこなしてください。クランプボルト等の締め付けが弱いと、パッドが落下し、ケガをする危険があります。また、平らでない床の上などにラックやスタンドをセッティングすると、ラックやスタンドが転倒し、ケガをする危険があります。

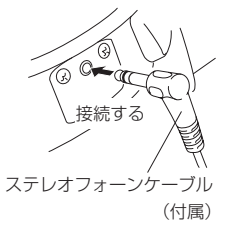
NOTE：ドラムヘッドは均一に張ってください。締め付けの強さにムラがあるとシワが生じ、ドラムヘッドの寿命が短くなる場合があります。

NOTE：ドラムヘッドの張り具合の調整は適正な範囲で行ってください。強く締め付けすぎると、ドラムヘッドや胴体などが破損する場合があります。ゆるめすぎると、ドラムヘッドやクッションの寿命が短くなる場合があります。また、ゆるめすぎた状態では、リムショットの際に金属的な雑音が発生したり、同じくリムショットの際リムのセンサーからの出力が小さくなり、DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS から発音される音が鳴らないあるいは小さくなったりすることがあります。なお、ドラムヘッドは使用しているうちにゆるんでくる場合があります。適宜締め付けなおしてください。

## ■接続のしかた

付属のステレオフォンケーブルを使って、パッドの出力(OUTPUT)を DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS の入力(SNARE,TOM1 など)に接続します。ケーブルの L 字プラグ側をパッドに差し込んでください。

NOTE：リアルヘッドパッド RHP80/100/120/120SD はデュアルトリガータイプの電子ドラム用パッドです。パッド部（ドラムヘッドが張られている部分）、リム部（フープ上でリムショットに用いる部分）それぞれにトリガーセンサーが設置されており、リムショットの際にパッド部とは別な音色を設定して鳴らすことができます※。

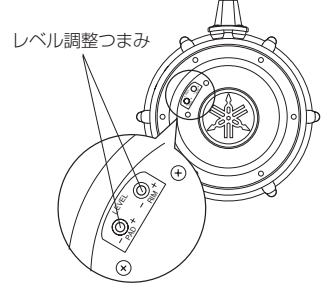


※ DTXEXTREME：INPUT1～8,9/10～15/16、DTX：INPUT9/10,11/12、DTXPRESS：INPUT9/10 で可能。その他の INPUT はパッド=トリガー/リム=スイッチタイプのパッド（TP80S など）専用のため、リアルヘッドパッドを接続した場合はパッド部のみの音が発音されます。

## ■出力(LEVEL)調整

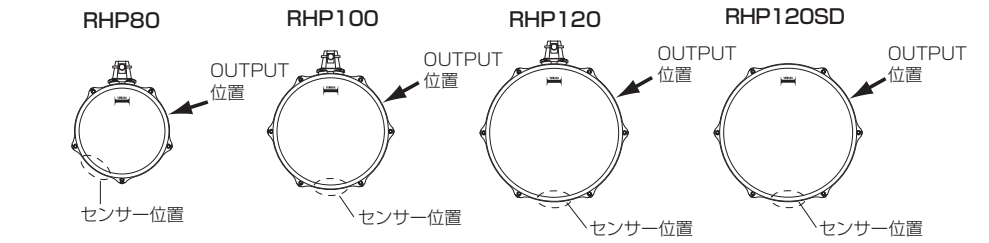
リアルヘッドパッドからのトリガー出力の大きさを調整します。パッド部（ドラムヘッドが張られている部分）を叩いた際の出力とリム部を叩いた際（リムショット）の出力を別々に調整できます。レベル調整つまみを右(+)に回すと出力が上がり、左(-)に回すと下がります。パッドやリムを叩く強さや、必要とされるダイナミックレンジ、またお使いになる機器などに応じて調節してください。

NOTE：リアルヘッドパッドを DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS で使用する場合、ff で演奏のとき、DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS のトリガーエディットモードの、[PAD Gain] のインプットレベル表示が 90～95% になるように調節します（リムショットの際も同様に）。詳しくは DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS に付属の取扱説明書を参照してください。出力が大きすぎると、ダイナミックレンジ（強弱の差）が狭くなったり、ダブルトリガー（1回の打撃に対し複数回音が出てしまう）や、クロストーク（パッドを叩いた際にリムに設定した音が鳴ってしまう、あるいはその逆）などのトラブルが起きやすくなります。故障の原因になりますので、レベル調整つまみに過大な力を加えないでください。



### ● リムショットの感度について

リアルヘッドパッド RHP80/100/120/120SD では、図の位置にリムショット用トリガーセンサーが設置されています。リムショットの感度は、センサーの真上が最も高く、そこから外れるにしたがって徐々に低くなっています。リムショットの際は、なるべく感度の高い範囲でお使いください。



### 音を大きくしたいときは

リアルヘッドパッドを DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS で使用する場合、個々のパッドに設定した音の音量を変えたいときは、上記の出力調整の後に、DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS の（ボイス）エディットモードで音量設定を行ってください。詳しくは DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS に付属の取扱説明書をご覧ください。

### ● ラックにマウントした状態で、あるパッドを叩いた際、別なパッドに設定した音も出る(クロストーク)

要因	確認事項
ラックシステムの組立強度が不十分で、ふらついている部分はありませんか？	ラックの組立時、クランプボルトなどの締め付けが不十分で、ふらついている部分などがあると、パッドを叩いた際に、ラックが大きく振動してしまい、それが別なパッドのトリガーセンサーに大きく伝わって、発音してしまう場合があります。ラックやスタンドの組立は確実にこなしてください。
ラックにマウントした各パッドのレベル調整つまみが必要以上に上げられていませんか？	例えば、あるパッドのレベル調整つまみが必要以上に上げられていると、別なパッドを叩いた際、ラックパイプなどを通じてわずかに伝わる振動が、そのパッドのトリガーセンサーに大きく拾われてしまい、そのパッドに設定した音が発音されてしまいます。上記〔出力調整〕により、適正な出力が送られるよう、設定しなおしてください。

※ 異なるパッド間のクロストークについても、上記対策で改善が不十分な場合には、DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS のスペシファイドドリジェクション機能を使って発生を抑えることができます。詳しくは DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS に付属の取扱説明書を参照してください。

### ● リムショットの際、金属的な雑音が出る

要因	確認事項
リアルヘッドパッドのドラムヘッドがゆるんでいませんか？	ドラムヘッドがゆるみすぎた状態では、リムショットの際金属的な雑音が出る場合があります。チューニングキーを使ってヘッドの張り具合を調節しなおしてください。（上記〔セッティングのしかた〕参照）。

上記トラブルや、その他のトラブルについては、DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS に付属の取扱説明書も参照してください。それでもトラブルが解消されない場合は、お買い上げ店または本取扱説明書巻末に記載のヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## ■仕様

### ● RHP80

パッド口径	8インチ
外形寸法(突起部含む)	237(W)×291(D)×140(H)mm
重量	1,740g
ロッドクランプ付き	

### ● RHP100

パッド口径	10インチ
外形寸法(突起部含む)	299(W)×342(D)×140(H)mm
重量	2,080g
ロッドクランプ付き	

### ● 全機種共通

センサー方式	デュアルトリガータイプ(パッド/リム)	付属品	ステレオフォンケーブル(3m)×1
コントロール	出力調整ボリューム×2(パッド/リム)		波型クッション×1
出力端子	標準ステレオフォンジャック		取扱説明書(本書)×1

### ● RHP120

パッド口径	12インチ
外形寸法(突起部含む)	350(W)×392(D)×140(H)mm
重量	2,390g
ロッドクランプ付き	

### ● RHP120SD

パッド口径	12インチ
外形寸法(突起部含む)	350(W)×350(D)×94(H)mm
重量	1,990g

※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■アフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### ● 持ち込み修理のお願い

まず本書をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常のあるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

### ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

### ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点(修理、サービス問い合わせ先)

#### (修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL(044)434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL(06)6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸龜町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL(087)822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2134

【本社】CSセンター 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 TEL(053)465-1158

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

### ヤマハ株式会社各事業所/営業所(商品に関する問い合わせ先)

弦打楽器事業部 国内営業部	〒430-8650	浜松市中沢町10番1号	TEL(053)460-2433
EM営業統括部			
北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50	TEL(011)512-6113
仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL(022)222-6147
東京・営業推進課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5476
名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL(052)201-5199
大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9	TEL(06)6252-5231
九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2130

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

### ●音を楽しむエチケット●



※これは日本電子工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でも良く通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## ヤマハ株式会社

弦打楽器事業部 国内営業部 キタードラム営業課  
〒430-8650 浜松市中沢町10-1 TEL.(053)460-2433

# RHP80/100/ 120/120SD

## OWNER'S MANUAL

### INTRODUCTION

Thank you for purchasing the YAMAHA Real Head Pad RHP80/100/120/120SD. The YAMAHA Real Head Pad series was developed as a trigger pad for use with an electric drum system. The pads utilize Remo Coated Ambassador heads. This system delivers a richer, closer to acoustic feeling that extends greater expressive potential to the drummer. Just like a real, high quality acoustic drum, the shell is made of birch then covered with a clear finish.

To get the most out of your YAMAHA Real Head Pad Series, please read this manual carefully. After reading, please keep it in a safe place for future reference.

### Handling Precautions

- Do not disassemble (except for when replacing the head or a cushion as described in this manual) or alter the product. Doing so may result in damage or deterioration to the product.
- Do not step on or place heavy objects on the product. It may result in damage.
- Do not use or keep the product in places with extremely high temperature (places in direct sunlight, close to a heater, in a closed car, etc.) or damp (bathroom, outside on a rainy day, etc.). It may result in deformation, discoloration, damage or deterioration.
- To clean the product, please wipe with a soft cloth or a damp cloth that has been wrung out thoroughly. If the product is soiled, use a neutral detergent on a cloth then wipe with a damp cloth that has been wrung out thoroughly to remove any remaining detergent. Do not use benzine, thinner or alcohol as it may result in discoloration or deformation. Also pay close attention so as not to let the water and detergent come into contact with the cushions used in the product, it may result in deterioration.
- When connecting or disconnecting cables, make sure to hold the cable by the plug. Also, make sure heavy or sharp objects are not placed upon the cable. If excessive force is placed on the wire, it may result in the wire breaking.

### Replacing the Drum Head

Like acoustic drums, the Real Head Pad's drum head will wear over time. When it is time to change the old head with a new one, please do so on your own. We recommend the use of Remo Coated Ambassador 8", 10" and 12" drum heads, but you may use any other head that you prefer. Just keep in mind that depending upon the drum head you use, the feel, sound, output, etc. may be slightly different.

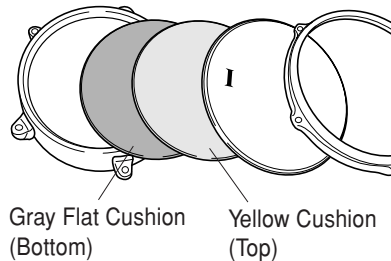
### Replacing the Cushion

For sensing and sound deadening purposes, the Real Head Pads utilize a cushion that provides support to the entire drum head from within the pad. You can use the supplied corrugated cushion in place of the cushion that was installed at the factory. Use of the corrugated cushion offers a firmer feeling head. Select the best cushion according to the type of drum head you use.

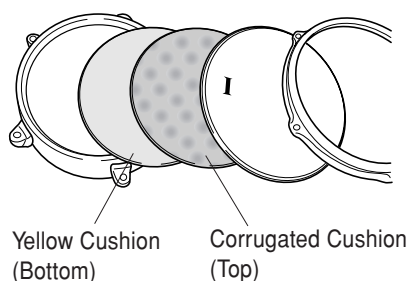
**NOTE :** When you use the corrugated cushion, put the yellow cushion that was installed at the factory on the bottom, then the corrugated cushion on top with the corrugated side of the cushion in contact with the drum head (in this case the flat, gray cushion is not needed).

**NOTE :** When the corrugated cushion is not used, make sure the other cushions are positioned in the same manner as when the unit was shipped from the factory, with the flat, gray cushion on the bottom and the yellow cushion in contact with the drum head. If the cushions are reversed, it may result in deterioration of the cushions.

**When the corrugated cushion is not used.**  
(As shipped from the factory)



**When the corrugated cushion is used.**

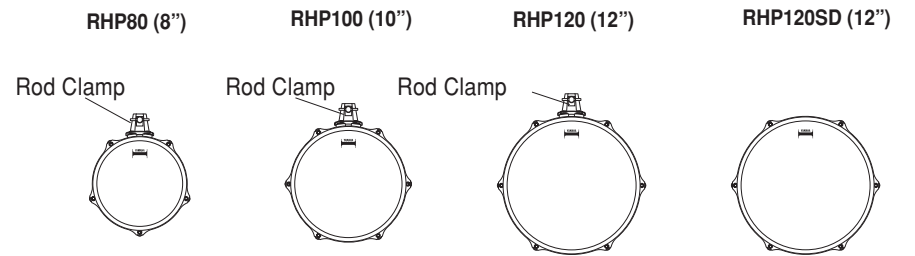


### About Replacing Worn Parts (Rubber Hoop Cover, Cushions, etc.)

- This product uses parts (drum head, cushion, rubber hoop cover, Output Level Adjustment knob, output jacks, etc.) that will wear or deteriorate over time. How these parts wear or deteriorate will depend upon the environment, length of time, etc., in which the device is used.
- Please ask the dealer from whom you purchased the device about replacing worn parts.

### What is Explained in this Manual

- The RHP80/100/120 are tom type (8"/10"/12") trigger pads with rod clamps that can be attached to a tom stand or rack.
- The RHP120SD is a 12" snare drum type trigger pad. It can be set on a snare stand (YAMAHA:SS642, etc.).

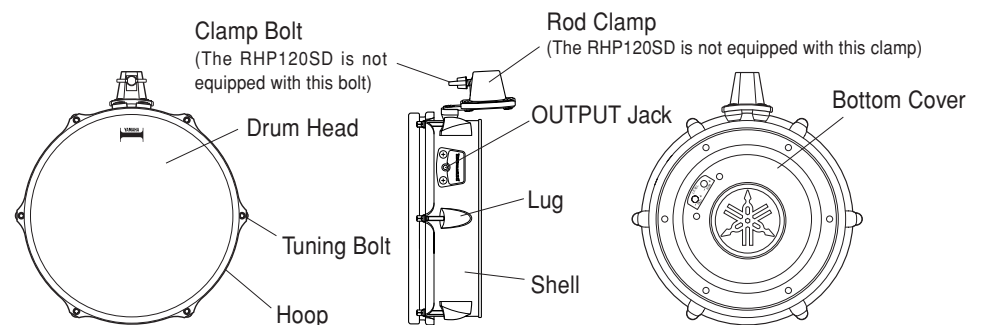


### Inside This Package

Before setup, please make sure that all of the items listed below are present and accounted for. If anything is missing, please contact the dealer from whom you purchased the unit.

<ul style="list-style-type: none"> <li>• Pad Units (RHP80/100/120/120SD) x1</li> </ul> <p>Rod Clamp (The RHP120SD is not equipped with this clamp)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Stereo Phone Cable (3m) x1</li> </ul> <p>The plug with the two black rings</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Corrugated Cushion x1</li> </ul>
--	---	---

### Part Names



Next

### Troubleshooting

If the following trouble occurs when the Real Head Pad is used, please check the following points before asking your dealer for assistance.

#### ● No Sound, Volume is Low

Problem	What to check.
<b>Is the Real Head Pad's OUTPUT jack properly connected to the Input jack on the DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS with the supplied stereo phone cable (the plug with two black rings)?</b>	If the pad is connected with a monaural phone cable (the plug with one black ring), the rim shot sound will not be produced. Also, if the Real Head Pad is connected to an INPUT number on the DTX/DTXPRESS that is not capable of producing rim shots, the sound will not be produced. (Refer to the "Connections" section above.)
<b>Is the Real Head Pads Output LEVEL Adjustment set too low?</b>	If the level is set too low, the signal level sent when the pad is hit will be very low so, the DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS will not be able to produce sufficient volume from this low level signal.
<b>Is the drum head on the real head pad too loose?</b>	If the drum head is too loose, the output from the rim sensor may be reduced. Use a tuning key to adjust the tension on the head. (Refer to the previous "Setting Up" section.)
<b>Is the DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS properly connected to a pair of headphones or the external audio device?</b>	Check connections, power switches or volume settings on the external devices.
<b>Is the DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS properly setup?</b>	Check if the volume setting assigned to each of the DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS's INPUT numbers is not set too low (refer to the "To Increase the Sound Volume" section above). Also, check to see if the headphone volume etc. is not set too low.

#### ● Multiple sounds are produced when the pad is struck once (Double Trigger).

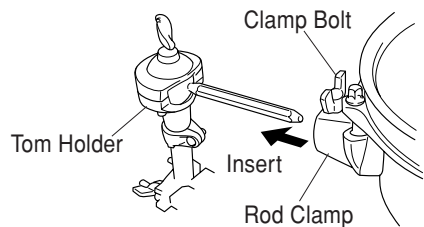
Problem	What to check.
<b>Is the Real Head Pad's Output LEVEL adjustment knob set too high?</b>	If the Output LEVEL knob is set too high, the large signal remains for a longer time causing the DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS to produce multiple triggers. Use the previously explained Output LEVEL adjustment to set the level to a proper level.

\* If the double triggers continue even after you have tried the solutions listed above, use the DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS "Self Rejection" function to control the problem. Refer to the Owner's Manual supplied with the DTXEXTREME/DTX/DTXPRESS for more information.

## Setting Up

### (RHP80/100/120)

Insert the Tom Holder (6-sided), on a rack stand or tom stand, into the Rod Clamp attached to the Pad, and tighten the Clamp Bolt firmly.



### (RHP120SD)

The snare drum pad can setup on a snare drum stand (YAMAHA: SS642, etc.) in the same manner as a normal snare drum.

**NOTE :** When attaching the Real Head Pads to a rack system, we recommend that either the YAMAHA Rack System RS100 or RS95 be used. Using a ball clamp type tom holder like the RS100 allows the attachment of large pads like the RHP120. A cylinder type tom holder like the RS95 allows the attachment of lighter pads up to the RHP80. When a large pad such as the RHP100/120 is attached to the RS95, we recommend that the tom holder TPCL100 (optional) be used. The RS60 and RS80 may not provide adequate support for the Real Head Pads. If you already own the RS80 rack

system, adding the VK80 Rack Reinforcement Kit (optional) will increase the strength of the rack to that of the RS95.

**NOTE :** Drum head tension can be adjusted by tightening or loosening the tuning bolts on the hoop with a tuning key. However, there will be no change in the tone produced by the DTXTREME/DTX/DTXPRESS, etc.

**!** Make sure the pads are properly setup on the rack or stand. If the clamp bolts, etc. are not tightened sufficiently, the pad may fall off resulting in injury. Also, if the rack or stand is not setup on a flat surface, the rack or stand may overturn resulting in injury.

**NOTE :** Please make sure that head tension is even all the way around the head. Uneven tension may produce wrinkles, which may shorten the life of the drum head.

**NOTE :** Make sure the drum head is tightened within a proper range. Over tightening may result in damage to the drum head, shell, etc. An overly loosened head may result in a shorter life of the drum head, cushion, or noise. Also, when the head is too loose a metallic noise may occur when playing rim shots, likewise, the output from the rim sensor may be reduced and the sound produced by the DTXTREME/DTX/DTXPRESS may be reduced or not sound at all when playing rim shots. The head may also become loose over time, so occasionally retighten the head.

## Connections

Use the supplied stereo phone cable to connect the pad's output jack to the input (SNARE, TOM1, etc.) of the DTXTREME/DTX/DTXPRESS. Connect the cable's L-shaped plug to the pad.

**NOTE :** The RHP80/100/120/120SD Real Head Pads are dual trigger type electronic drum pads. Both the pad (the drum head section) and the rim (the hoop section around the head that is used for rim shots) are individually equipped with trigger sensors. A separate sound can be assigned to the rim to allow for rim shots\*.

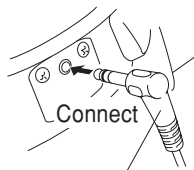
\* Only the following inputs can be used.

DTXTREME: INPUT 1-8, 9/10-15/16

DTX: INPUT 9/10, 11/12

DTXPRESS: INPUT 9/10

Since other INPUTS are designed for use with pad trigger/rim switch type pads (TP-80S, etc.), only the pad will be able to produce sound when a Real Head Pad is connected.



3m Cable with Standard Phone Plug (Stereo)

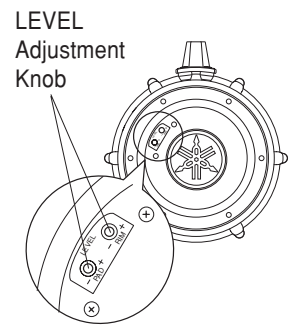
## Output Level (LEVEL) Adjustment

Controls the trigger output level produced by the Real Head Pads. Output produced by either the pad section (the drum head section) or rim section (rim shot) can be controlled individually. Turn the LEVEL adjustment knob to the right (+) to increase the level. Turn to the left (-) to decrease the level. Adjust the level according to the amount of strength you use when playing the pad and rim, the required dynamic range, or specific needs regarding the devices that you use.

**NOTE :** When the Real Head Pad is used with the DTXTREME/DTX/DTXPRESS, the value on the Input Level display, found in the Trigger Edit Mode's [PAD GAIN] page, should be set to a value somewhere between 90% and 95% when the pad is struck at ff (the rim should be set the same for rim shots). For more information, please refer to the "Owner's Manual" supplied with your DTXTREME/DTX/DTXPRESS.

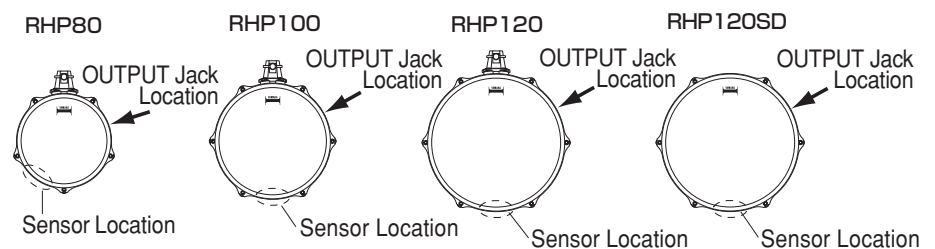
If the Output LEVEL is set too high, the dynamic range may be reduced, or problems such as double triggers (when a single stroke produces multiply triggered sounds), and cross talk (hitting the pad causes the sound assigned to the rim to be produced or vice versa) may occur.

**!** Do not put excessive pressure on the level adjustment knob, it may result in damage.



### About Rim Shot Sensitivity

The locations of the RHP80/100/120/120SD's trigger sensors are shown in the illustration. The highest sensitivity can be found in the direct vicinity of the sensor and will decrease as you move away from the sensor. If you are going to use rim shots, we recommend that the area of highest sensitivity be placed in an optimum position when setting up the pad.



### To Increase the Sound Volume

To change the volume of the sound assigned to individual pads when the Real Head Pads are used with the DTXTREME/DTX/DTXPRESS, first adjust the Output LEVEL as described previously, then use the (VOICE) EDIT Mode to set the volume on the DTXTREME/DTX/DTXPRESS. Please refer to the "Owner's Manual" supplied with your DTXTREME/DTX/DTXPRESS.

### When the pad is hit, the sound assigned to the rim is also produced, or vice versa (cross talk).

Problem	What to check.
Is the Real Head Pad's Output LEVEL Adjustment knob set too high?	If the rim's Output LEVEL knob is set too high, sympathetic vibrations produced when the pad is hit may be transmitted through the shell, etc. and picked up by the sensor located in the rim which in turn causes the sound assigned to the rim to be produced. Use the previously explained Output LEVEL Adjustment to set the level to a proper level.

\* If the cross talk continues even after you have tried the solutions listed above, use the DTXTREME/DTX/DTXPRESS "Specified Rejection" function to control the problem (can be used on the following channels DTXTREME: INPUTS 9/10-15/16, DTX: INPUTS 9/10, 11/12, DTXPRESS: INPUT 9/10). Refer to the Owner's Manual supplied with the DTXTREME/DTX/DTXPRESS for more information.

### When mounted on the rack and a pad is hit, a sound that is assigned to another pad is also produced (cross talk).

Problem	What to check.
Is the rack system's strength adequate, or are sections of the rack loose?	If the clamp bolts, etc. are not tightened firmly when the rack is assembled, the unstable section of the rack will move about when the pad is hit. Vibrations are then transmitted to sensors in the other pads resulting in other sounds being produced. Please make sure that the rack or stand is assembled firmly.
Is the Output LEVEL Adjustment knob on each of the pads connected to the rack system set too high?	If the Output LEVEL knob on any of the pads is set too high, sympathetic vibrations produced when another pad is hit may be transmitted through the rack pipe, etc. and picked up by the pad's trigger sensor which in turn causes the sound assigned to the pad to be produced. Use the previously explained Output LEVEL Adjustment and set the level to a proper level.

\* If the cross talk continues between other pads, even after you have tried the solutions listed above, use the DTXTREME/DTX/DTXPRESS "Specified Rejection" function to control the problem. Refer to the Owner's Manual supplied with the DTXTREME/DTX/DTXPRESS for more information.

### When a rim shot is played, a metallic noise is produced.

Problem	What to check.
Is the drum head on the Real Head Pad too loose?	When the drum head is too loose, a metallic noise may be produced when a rim shot is played. Use the tuning key to adjust head tension. (Refer to the previous "Setting Up" section.)

For more information on the problems listed above and other problems, please refer to the "Owner's Manual" supplied with the DTXTREME/DTX/DTXPRESS. If you can not solve the problem on your own, please contact the dealer from whom you purchased the device.

## Specifications

### RHP80

Pad Diameter	8 inches
Size (including protrusions)	237(W) x 291(D) x 140(H)mm
Weight	1,740g
Includes Rod Clamp	

### RHP100

Pad Diameter	10 inches
Size (including protrusions)	299(W) x 342(D) x 140(H)mm
Weight	2,080g
Includes Rod Clamp	

### RHP120

Pad Diameter	12 inches
Size (including protrusions)	350(W) x 392(D) x 140(H)mm
Weight	2,390g
Includes Rod Clamp	

### RHP120SD

Pad Diameter	12 inches
Size (including protrusions)	350(W) x 350(D) x 94(H)mm
Weight	1,990g

### For All types

Sensor System	Dual Trigger Type (Pad/Rim)
Control	Output LEVEL Volume x2 (Pad/Rim)
Output Jack	Standard Stereo Phone Jack (stereo)
Accessories	Stereo Phone Cable (3m) x1, Corrugated Cushion x1, Owner's Manual (this booklet) x1

\* Improvements may result in a change in the specifications and/or design of the product without notice.

### SPECIAL MESSAGE SECTION

**NOTICE:** Service charges incurred due to a lack of knowledge relating to how a function or effect works (when the unit is operating as designed) are not covered by the manufacturer's warranty, and are therefore the owners responsibility. Please study this manual carefully and consult your dealer before requesting service.

**ENVIRONMENTAL ISSUES:** Yamaha strives to produce products that are both user safe and environmentally friendly. We sincerely believe that our products and the production methods used to produce them, meet these goals. In keeping with both the letter and the spirit of the law, we want you to be aware of the following:

**Battery Notice:** This product MAY contain a small non-rechargeable battery which (if applicable) is soldered in place. The average life span of this type of battery is approximately five years. When replacement becomes necessary, contact a qualified service representative to perform the replacement.

This product may also use "household" type batteries. Some of these may be rechargeable. Make sure that the battery being charged is a rechargeable type and that the charger is intended for the battery being charged. When installing batteries, do not mix batteries with new, or with batteries of a different type. Batteries MUST be installed correctly. Mismatches or incorrect installation may result in overheating and battery case rupture.

**Warning:** Do not attempt to disassemble, or incinerate any battery. Keep all batteries away from children. Dispose of used batteries promptly and as regulated by the laws in your area. Note: Check with any retailer of household type batteries in your area for battery disposal information.

**Disposal Notice:** Should this product become damaged beyond repair, or for some reason its useful life is considered to be at an end, please observe all local, state, and federal regulations that relate to the disposal of products that contain lead, batteries, plastics, etc. If your dealer is unable to assist you, please contact Yamaha directly.

**NAME PLATE LOCATION:** The name plate is located on the bottom of the product. The model number, serial number, power requirements, etc., are located on this plate. You should record the model number, serial number, and the date of purchase in the spaces provided below and retain this manual as a permanent record of your purchase.

Model \_\_\_\_\_ Serial No. \_\_\_\_\_  
Purchase Date \_\_\_\_\_

**PLEASE KEEP THIS MANUAL**



YAMAHA CORPORATION  
P.O. Box 1, Hamamatsu, Japan

Printed in Japan